



大阪活性化推進総研

ニュース

2021年7月1日
第28号

梅雨空にもまして、一向にスッキリしないコロナの感染状況ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。ODIも人が集まるイベントが出来ないため、活動がほとんど休止状態です。このODIニュース28号も本来なら4月1日に発行すべきところ、3か月遅れとなりました。

活動休止中も理事会はウェブで開催し、今後の活動等について模索を続けてまいりましたが、緊急事態宣言の中、第19期通常総会も昨年に引き続いて書面による「みなし総会」となりました。佐藤理事長より以下の議案を全会員に郵送、書面評決を頂いた結果、39名1社の全員一致により全議案が承認され、総会は成立しました。

いまだコロナ感染の終息が見通せる段階ではありませんが、ワクチン接種が進み、東京オリンピックも開かれようとしています。今秋には待望のODIイベントでお元気な皆様と再会できることを祈っております。

第1号議案：2020年度事業報告

第2号議案：2020年度事業収支決算

2020年度貸借対照表、同財産目録

2020年度監査報告書

第3号議案：2021年度事業計画

第4号議案：2021年度事業収支予算



春のウォーキング、第1回「蕪村のふるさと・毛馬コース」開催 俳人・与謝蕪村にちなみ、現地で俳句会も。

昨年はコロナ禍のため秋に2回のみ開催した「楽しいウォーキング」、2月には第3波の感染拡大も落ち着いてきたため、2021年春期は4回のウォーキングを計画していました。しかし春の行楽シーズンを経てまたまた感染が拡大、4月5日には万全の注意を払いつつ第1回「蕪村のふるさと・毛馬」コースを開催したものの、大阪に3回目の緊急事態宣言が発出され、第2回以降を中止せざるを得なくなりました。

桜の季節に合わせた第1回でしたが、暖冬のため開花が早く、当日はすでにほとんど散っていました。しかし絶好のウォーキング日和。毛馬周辺では花びらが地面に散り敷き、川面に吹き寄せられて、初の試みとして行った俳句会「蕪村とコラボ・俳句会」に打って付けの題材を提供してくれました。

同行した北区のボランティア・ガイドさんが、淀川が大阪市内に入る「かなめ」をなす毛馬の歴史やしくみを丁寧に説明して下さいました。今は水底に沈んだ旧毛馬村生まれの与謝蕪村に思いをはせ、帰りは春風に吹かれて大川沿いを歩く、充実したウォーキングの一日となりました。参加者30人

コース：天神橋筋六丁目—国分寺—鶴満寺—鶯塚—淀川河川公園（眼鏡橋、毛馬第一閘門、
沖野忠雄記念碑、淀川大堰）—与謝蕪村生誕地（句碑）—現毛馬閘門・水門—
蕪村公園（昼食）—淀川神社—毛馬桜ノ宮公園—JR桜ノ宮駅（約5km）





蕪村とコラボ・俳キング

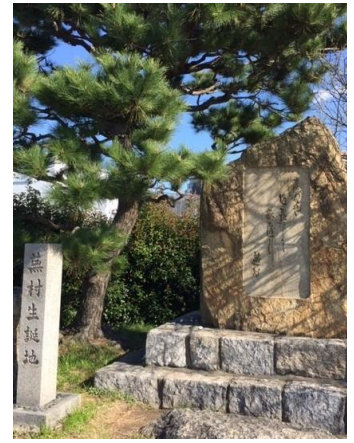
今回は俳人・与謝蕪村の生誕地を訪ねるウォーキングであることから、初の試みとして、蕪村の句碑（写真左）を見学後、参加者に投句をお願いしました。

当初「いきなり俳句なんていっても作ってくださる方が何人いるだろう？」と心配し、投句頂いた方にはもれなく粗品としてマスクケースを進呈することにしました。しかし「案ずるより産むがやすし」、場所の魅力か、昨今の俳句ブームのせいかな、はたまた粗品の効果か、昼食後に12人から15句の投句をいただきました。

後日「ODI 俳句の会」メンバーに人気投票していただいた結果が別表です。「日頃から俳句に親しんでおられるのか？」「皆さんレベルが高い」「季語重なりもあるが、どれもどかな毛馬付近の風景が率直に表現されていて素晴らしい」と、驚きの声が上がりました。複数票を獲得した句のみ掲載させていただきます。

最高得点だった①は「自然の営みに人の生き方を重ね、嘆くこともなく散ってゆく花を見習いたいと願う、そんな気持ちをうまく伝えている」「“散る”時が刻々と迫っている我々世代への力強いメッセージを感じる」と、多くの人から高評価を得ました。

②も「のどかな春の毛馬付近の情景を率直に表現されている」「蕪村の“春風や堤長うして道遠し”の風景との連続を思わせる」と人気が高く、③は「桜の花びらが重なり、流れに乗ってやって来る。花びらの旅を連想させて面白い」、④は「小波さざ波のリズムが心地よい」などの評をいただきました。

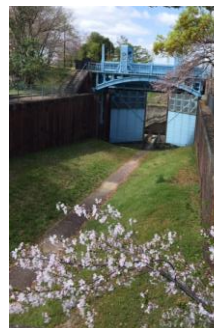


- | | | | | | | | | |
|-------------|----------------|----------------|-----------------|------------|--------------|----------------|---------------|--------------|
| ⑨ | ⑧ | ⑦ | ⑥ | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| 春の日や大川ばたは花嵐 | ハイキング日和や友と花むしろ | 東の間のかくれし笑顔春惜しむ | ありがたや待つてくれた土手の桜 | 春風に毛馬の水門花筏 | 春風に小波さざ波毛馬の堰 | 花いかだ流れはいつか毛馬の堰 | 風ゆるく光のどけき毛馬の春 | 嘆かずに命を生きし散る桜 |
| 鍵山英子 | 扇谷禮子 | 平野きよみ | 播磨昭広 | 播磨和子 | 信田隆司 | 信田幸子 | 佐藤徳治 | 平野きよみ |

①



②



③



④



- ① 淀川の水量を調整する淀川大堰を背景に、堤防上でボランティア・ガイドさんの説明を聞く。
- ② 明治期に作られた毛馬第一閘門の遺構
- ③ 現在の毛馬水門（左）と船が往来する閘門（右）
- ④ 帰路は名残りの桜を楽しみつつ大川沿いを歩いた。

ODI 俳句の会

このODIニュースの発行が4月お休みとなったため、4月2日に行われた第14回句会の報告が遅れてしまいました。7月2日に行われた第15回と併せて、投票で選ばれた句をご紹介します。

コロナ下でも少人数の集まりである俳句の会はどうか活動を続けています。季節の移ろいや日々の暮らしの中から浮かぶ感慨を、五七五に託してみませんか？メンバーのほとんどが初心者。新人大歓迎、見学のみもOKです！

《4月2日・第十四回句会から》

春雪や比良の御姥おんばの薄化粧
貨物車の長き繋がり春運ぶ
老雛の破れをつづる弥生かな
孫はたち鷹かトンビか春の夢
古都の春炎告げしや二月堂
はしゃぐ子ら花見弁当口いっぱい
春めく日古墳遙かに跨線橋
春風に水底の村唄びやる
春風や学びのころも脱ぎ捨てる

捨盆 繁幸 捨盆 一夫 喜代志 肇 捨盆 佳容子 捨盆

《7月2日・第十五回句会から》

梅雨晴れや山あくびして背伸びする
咲いて散る花のリレーや春せわし
シャボン玉辿れば路地に戯れる父子
弟の身罷りし頃グミ赤し
クチナシの花錆びてなお香り立つ
もぎたてや頬張るトマト生ジュース
もくもくと大楠しげる五月かな
新緑にふとそそられし樹木葬

捨盆 喜代志 繁幸 喜代志 肇 佳容子 徳治 喜代志

★第16回は10月1日(金)午後2時から、大阪府中央区の中央会館で開催の予定です。詳細は担当・松井(090-5046-4075)までお問合せ下さい。

★用意するもの＝短冊(幅3センチ、長さ15センチくらいの紙なら何でもよい)1枚に一句ずつ、計3句を書いてご持参ください。季題は自由です。他に筆記用具、参加費500円

第17回Odiゴルフを楽しむ会

6月2日(水)茨木国際ゴルフ倶楽部にて開催。梅雨の晴れ間のめったにない好天に恵まれ、最高のゴルフ日和でした。今回は新型コロナの関係で参加者が総勢7名と少なくなりましたが、皆様の比い稀な強運に助けられたと感謝致しております。皆さん和気藹々で楽しい1日を過ごされました。(担当＝平岡宣夫)

参加者の氏名及び表彰の状況はつぎの通り。(敬称略)

	氏名	表彰	NP
第1組	米埜悦治朗	B B	
	草野賢治	3位	○
	佐藤徳治		特別NP
第2組	藤井健二	1位	
	植田省吾		
	山本茂伸	5位	○
	平岡宣夫	2位	○



ワクチン接種すれば大丈夫？



一向に収まりそうにない新型コロナ。65歳以上の高齢者は7月中にはほぼ2回のワクチン接種を終えるとみられていますが、それで果たしてどこまで安心して生活できるのでしょうか？いつになったら普通の生活に戻れるのでしょうか？

昨年、このODIニュース26号では、免疫学の第一人者で当ODI顧問でもある宮坂昌之・大阪大学名誉教授に新型コロナ下での生活についてお聞きしました。そこで再度、マスコミに引張りダコでお忙しい中、宮坂教授に無理をお願いしてお話を伺いました。

最新のデータによればファイザー社、モデルナ社製のワクチンは、2回目を接種して10日から2週間でいずれも90%以上の有効率を示しています。しかも、その免疫力は少なくとも1年以上は持続し、「感染」「発症」「重症化」のいずれも高い確率で防いでくれます。ただし全くゼロリスクというわけではなく、1000人中5、6人はかかってしまう。でも、感染の確率は著しく低下するし、かかっても重症化はしない。変異ウイルスに対しても80%台の有効性が証明されています。

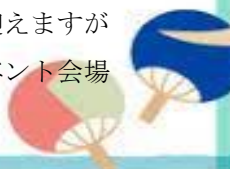
それなら、ワクチン接種すれば直ちにコロナ前の生活に戻れるかという、そうはいかないんですね。今後ワクチン接種がよほど進んだとしても、よくて社会全体の7割でしょう。ワクチン不信もあるし、16歳以下は対象に入っていないから、子ども達は感染する。先行しているイギリスやアメリカでさえ6割。だからリバウンドが起こってます。つまり当分は感染者と混在して生活しなければならないのです。2回接種を終えた人ばかりなら、宴会もカラオケもOKです。しかしなかなか現実はそのような生活はできない。中には未接種の人も混じるだろうし、心臓病、腎臓病、糖尿病、がんなどの持病があって免疫力が低下している人はワクチンの効果が下がります。また年齢によっても免疫力は下がってくる。1000人中5、6人というのは健康な人での話です。

ですから、当分は、おそらく何年間かは、周りには感染者がいっぱいいると思って、その中で生活しなければいけない。宣言や措置が解除され、旅行や集会にも行けたとしても、マスクや咳エチケット、手洗い、人との距離を取る、などは続ける必要があるでしょう。ワクチンも、インフルエンザのように毎年、追加接種が必要になるでしょうね。むしろこれが新しい世界のニュー・ノーマルだと思って、それに早く慣れていただきたいものです。(談)

お知らせ

毎年好評をいただいている「USJを楽しむ会」は、今年も12月7日(火)に予定しています。チケットは事前に各自で購入し、8時30分にユニバーサル・スタジオ・ジャパン入口の地球儀前集合。当会の出雲参加が終日ご案内します。詳細は同参加まで(080-2543-4766)

【編集後記】皆様、お元気ですか？ワクチン接種はもう済みましたか？長い間ご無沙汰したこのODIニュース、半年ぶりに発行できることになりました。「健康特集」は参考になりましたか？これから暑さも本番を迎えますが夏を元気で乗り切って次はイベント会場でお会いしたいものです(吉)



NPO 大阪活性化推進総研(ODI)

〒530-0005

大阪市北区中之島4-2-28、甲南アセット中之島ビル

TEL 090-5251-8906

FAX 06-6438-9070

E-mail ical4229@nifty.com

URL <http://npo-odi.life.coocan.jp/>